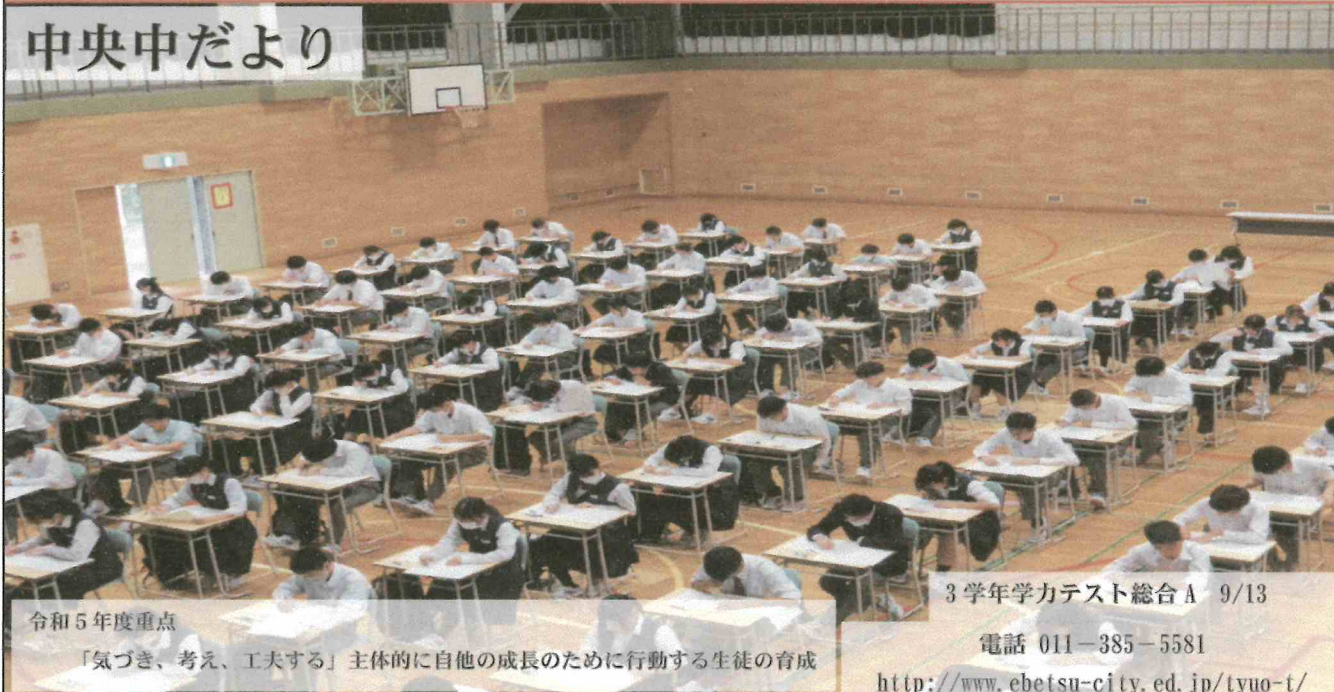


中央中だより



令和5年度重点

「気づき、考え、工夫する」主体的に自他の成長のために行動する生徒の育成

3 学年学力テスト総合 A 9/13

電話 011-385-5581

<http://www.ebetsu-city.ed.jp/tyuo-t/>

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

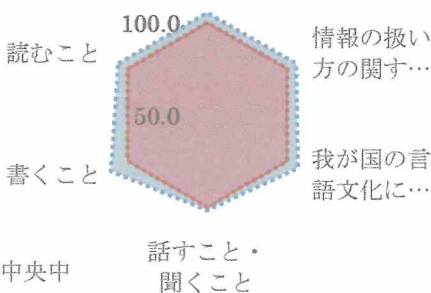
本年4月に3年生で実施しました「全国学力・学習状況調査」の結果がまとまりましたので、その概要をお知らせします。すでに、3年生の個人の結果につきましては、生徒を通じてご家庭にお配りしています。本校では調査結果を踏まえ、今後も生徒の学力向上に向けた教育計画や授業改善に取り組みます。保護者の皆さまには、3年生に限らず、各家庭においても家庭学習の一層の充実や生活リズムの安定に向けご指導をいただきますようお願いいたします。

国語

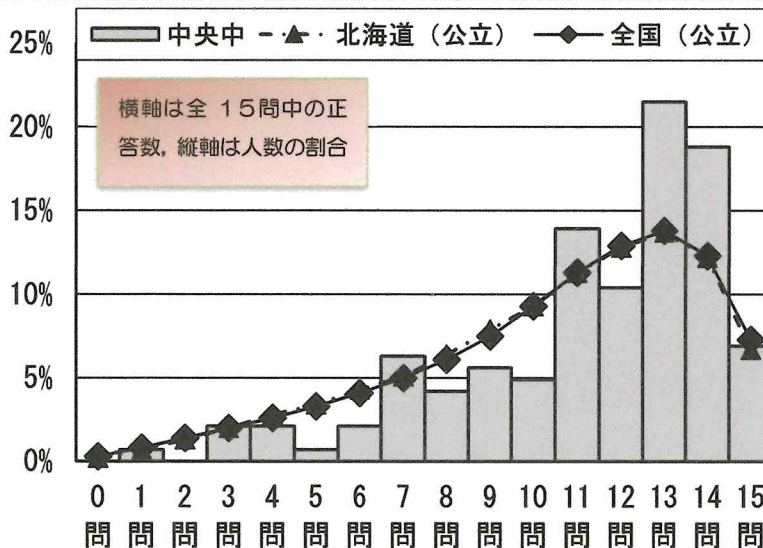
全国の平均正答率と比較して「上回っている」結果でした。

全国の正答率を
100%として
比較しています。

言葉の特徴
や使い方…



学習指導要領の領域ごとの全国との比較



正答率の高い問い

◎1ー インタビューの前に準備したメモについて説明したのとして適切なものを選択する。

正答率 本校 87.5%

◎2ー 「落胆する」の意味として適切なものを選択する。正答率 本校 95.1%

正答率の低い問い

◎3ー 漢字を書く(おし量って)。正答率 本校 50.7%

課題となる問い

◎2ー

それぞれの文章で述べられている「読書の楽しみ」として適切なものを選択する。

正答率 本校 75.0%

正答率の高い問い

正答率 本校 87.5%

- ① 南さんの「インタビュアーの前に準備したメモ」について説明したものと最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。
- ② インタビュアーの目的に沿った質問をするために、知りたいことを整理している。
- ③ 質問の内容を相手に明確に伝えるために、言葉遣いや話し方を確認している。
- ④ 見通しをもって話を進めるために、質問に対する相手の答えを予想している。
- ⑤ 話題を広げるために、インタビュアーの目的とは異なる質問を用意している。

正答 ①

正答率の高い問い

正答率 本校 95.1%

- ① 下線部「落胆する」、の意味として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。
- ② 慌てる
- ③ 恥ずかしがる
- ④ 恐れる
- ⑤ がっかりする

正答 ④

課題となる問い

正答率 本校 75.0%

- ① 同じテーマの本を何冊も読むことで、その味方を広げる
- ② 一人の作家の代表作を選んで読むことで、その作家の特徴をつかむ
- ③ 同じ本を再度読むことで、以前と違う自分に気付く
- ④ 一人の作家の全集を隅から隅まで読むことで、その作家の性格や個性を知る

正答 ② ③ ④

正答率の低い問い

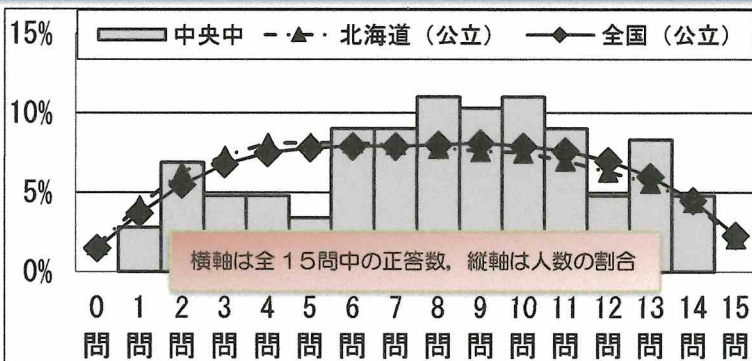
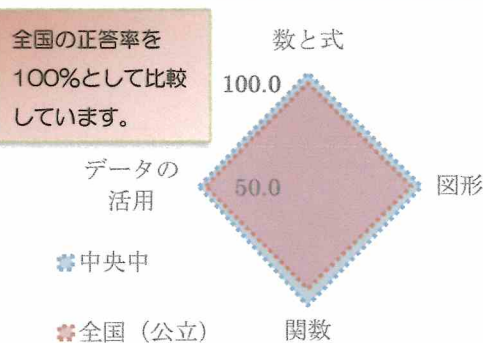
正答率 本校 50.7%

- ① 下線部のひらがなを漢字に直し、楷書でいねいに書きなさい。

正答 ③ ① 推し

数学

全国の平均正答率と比較して「やや上回っている」結果でした。



正答率の高い問い

- ◎② $12(x/4 + y/6)$ を計算する。 正答率 本校 85.5%
- ◎⑥ (1) はじめの数が11のとき、はじめの数にかける数が2、たす数が3のときの計算結果を求める。 正答率 本校 90.3%
- ◎⑦ (1) 1961年～1975年四分位範囲を求める。 正答率 本校 81.4%

正答率が低く、課題となる問い

- ⑤ 女子50m自由形の記録の、最小の階級から29.00秒以上30.00秒未満の階級までの累積度数を求める。 正答率 本校 37.2%
- ⑦ (2) 「2006年～2020年の黄葉日、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を、箱ひげ図の箱に注目して説明する。 正答率 本校 31.7%
- ⑨ (1) 2つの直線BC直線AEが平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを示すことで証明する。 正答率 本校 30.3%

7 イチョウの木の大部分の葉が黄色に変わった最初の日を黄葉日^{きようはふひ}といいます。一花さんと啓太さんは、黄葉日が以前と比べるとだんだん遅くなってきている傾向にあることをニュースで知り、二人が住む地域も同じ傾向にあるのかが気になりました。そこで、二人が住む地域の黄葉日を調べたところ、1961年から2020年までの60年分の記録がありました。

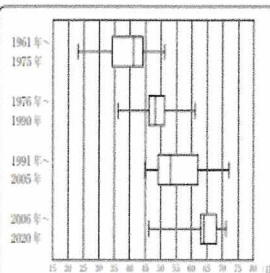
二人は、黄葉日の傾向を調べるために、各年の黄葉日を9月30日からの経過日数で表すことにしました。このとき、経過日数は10月1日が1日となり、10月31日は31日、11月1日は32日となります。そして、二人は次のような表にまとめました。

年	黄葉日	経過日数(日)
1961	10月23日	23
1962	11月10日	41
1963	11月10日	41
1964	11月13日	44
1965	11月12日	43
...
2019	12月10日	71
2020	12月4日	65

二人は、上の表を見て、経過日数が年によって大きくなったり小さくなったりしていることに気づきました。そこで、60年分の経過日数を何年かごとのまとまりで分けて箱ひげ図で表し、それぞれの分布の傾向を比較することにしました。

次のページの黄葉日までの経過日数の分布は、15年ごとのまとまりとして1961年～1975年、1976年～1990年、1991年～2005年、2006年～2020年の4つに分けてまとめました。

黄葉日までの経過日数の分布



	最小値	第1四分位数	中央値	第3四分位数	最大値
1961年～1975年	23	34	41	44	51
1976年～1990年	36	46	48	51	61
1991年～2005年	45	49	53	62	72
2006年～2020年	46	63	64	68	71

課題となる問い

正答率 本校 31.7%

(2) 二人は、前ページの箱ひげ図を見て、話し合っています。

一花さん「4つの箱ひげ図を見ると、黄葉日はだんだん遅くなってきている傾向がありそうだね。」
 啓太さん「でも、1991年～2005年と2006年～2020年の箱ひげ図は、右端と左端が同じくらいの位置にあるよ。遅くなっているといえるのかな。」
 一花さん「確かに箱ひげ図の右端と左端についてはそうだけど、箱に着目すれば、2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にあるといえるのではないかな。」

前ページの箱ひげ図を見ると、一花さんのように「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなってきている傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、1991年～2005年と2006年～2020年の黄葉日の箱ひげ図の箱に着目して説明しなさい。

正答 7(2)

正答率の高い問い 正答率 本校 81.4%

7(1) 1961年～1975年の四分位範囲を求めなさい。 正答 10

次の(a)、(b)、(c)のいずれかと、(d)について記述しているもの。

- (a) 1991年～2005年の箱ひげ図の箱よりも2006年～2020年の箱ひげ図の箱の方が右側にあること。
- (b) 1991年～2005年の第1四分位数よりも2006年～2020年の第1四分位数の方が大きく、1991年～2005年の第3四分位数よりも2006年～2020年の第3四分位数の方が大きいこと。
- (c) 1991年～2005年の第3四分位数よりも2006年～2020年の第1四分位数の方が大きいこと。
- (d) 2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にあること。

5 ある市の中学生の水泳大会における女子50m自由形に出場した40人の記録を調べました。調べた結果を、次の累積度数を含めた度数分布表に整理します。

階級(秒)	度数(人)	累積度数(人)
以上 未満		
27.00 - 28.00	3	<input type="checkbox"/>
28.00 - 29.00	2	<input type="checkbox"/>
29.00 - 30.00	4	<input checked="" type="checkbox"/> ア
30.00 - 31.00	11	<input type="checkbox"/>
31.00 - 32.00	8	<input type="checkbox"/>
32.00 - 33.00	6	<input type="checkbox"/>
33.00 - 34.00	3	<input type="checkbox"/>
34.00 - 35.00	3	<input type="checkbox"/>
合計	40	

課題となる問い 正答率 本校 37.2%

5 女子50m自由形の記録の「ア」には最小の階級から29.00秒以上30.00秒未満までの累積度数が入ります。「ア」に入る値を求めなさい。

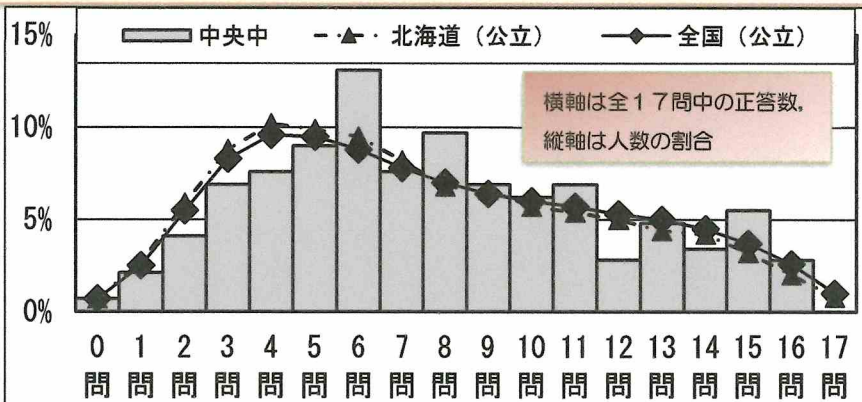
正答 9

全国的に正答率の低い設問であり、復習が必要と捉えています。

英語

全国の平均正答率と比較して「同様である」結果でした。

全国の正答率を100%として比較しています。



正答率の高い問い

5(2) 事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する。 正答率 本校 65.5%

課題となる問い

- 9(1)② 与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる 正答率 本校 13.1%
- 10 学校生活(行事や部活動など)の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く 正答率 本校 4.8%

正答率の高い問い 正答率 本校 65.5%

5(2)次の英文には、事実や考えが書かれています。考えが書かれている英文を、下線部1から4までのの中から1つ選びなさい。

There is a mountain in our city. It is 815 meters high. I went there
 1 2
 this summer with my family. I saw a lot of garbage. I was surprised to
 see it. We cleaned the place for about 30 minutes. Everyone should
 3 4
 bring their garbage back home.

正答 4

英語 全国の平均正答率と比較して
 話すこと調査 「同様である」結果でした。

10 あなたの学校では、学校の英語版ウェブサイトを公開しています。あなたは、そのサイトに学校紹介文を掲載することになりました。学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それについて説明するまとまりのある文章を25語以上の英語で書きなさい。

※ 短縮形（I'mやdon'tなど）は1語と数え、符号（,や?など）は語数に含めません。

(例) No. I'm not. 【3語】

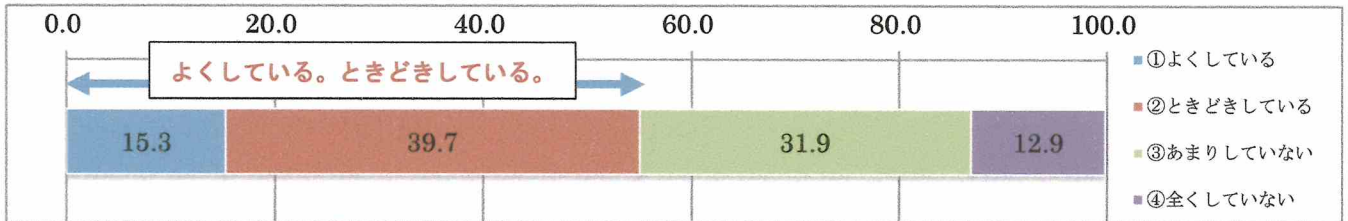
課題となる問い 正答率 本校 4.8%

10 正答例

・ Our school has a school festival in October. In the Festival, we have a chorus contest and we practice hard to win the gold prize. Many people come to listen to our songs. 【33words】

生徒質問紙調査 家庭学習に対する意欲や、家庭学習の取り組み方に課題が見られます。

全国学力・学習状況調査の生徒質問紙調査の結果から、家庭学習時間に大きな課題があること明らかになりました。学校の授業以外に平日1時間未満の学習時間の生徒が23.7%、30分以下の生徒も9.6%（計33.3%）という状況でありました。3人に1人は十分な時間、家庭学習に取り組めていません。（昨年度1時間未満38.5%、30分以下13.2%、計51.7%）また、家庭学習では、自ら計画的に学習できていない実態も見られます。



本校 48.8% 全国の 55.0% に対して 7.2% の差があります。（昨年度より 7.7%改善しています）

毎日、授業の復習や予習、宿題など、まずは集中して1時間を確保し習慣化させたいと考えています。ご家庭においても、進路や未来を見据えて、毎日の生活習慣・学習習慣について、お子さんと話し合い、あらためてご指導いただきますようお願いいたします。

中央中学校の取組

本校では、全国学力・学習状況調査や、標準学力検査の結果、7月に実施した教職員の間反省、生徒アンケートをもとに、「学校改善プラン」を策定し、生徒の学習や生活、授業の改善に向け、組織的・計画的に取組を進めていきます。本校生徒は、部活動や放課後活動に熱心に取り組み、学習の基礎・基本についてはおおむね定着している生徒が多くなってきているものの、学習意欲に課題が見られる生徒も未だ少なくない状況にあります。

学校としては、

- ①「生活習慣・学習規律」を指導するとともに、数学のTT指導、習熟度別少人数指導、反復などの授業の工夫改善、放課後学習による「基礎・基本の確実な習得」に努めます。
- ②個別最適な学びを実現するよう習熟に応じたプリント学習を進めるため、昨年度より各学年フロアに学習コーナーを設置しています。家庭学習に活用できるプリントを棚に置き、自由に持ち帰ることができるようにするとともに、パソコンとプリンタも常設し、自ら必要な教材をダウンロードして持ち帰ることも可能にしています。さらなる活用を生徒に促します。
- ③基礎・基本を基盤として、「思考力・判断力・表現力」を伸ばす「主体的・対話的で深い学び」「活用型」の授業づくりに努めるとともに、「キャリア教育」の充実により「学ぶ意欲」を高めます。部活動や放課後活動に熱心に取り組んでいる本校生徒ですが、「文武両道」を目指し、引き続き、各種取組を推進させて参りますので、ご家庭でのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

「早寝早起き朝ごはん」・「友だちとの21時以降のメール等のやりとりはしない」・「学習時間の確保」